

触れずに測定できる、 新しいインプラント安定性測定器

より美しい歯を求める患者さんの希望に応え、
インプラント治療はかなり身近なものとなりました。
また、治療技術の進歩によって治療リスクが軽減されたことで、
さらに多くの患者さんがインプラントに関心を抱かれています。
そんなニーズに対応したインプラント安定性測定機器がオステルISQアナライザです。

進化するインプラント技術 測定法も進化が必要です

オステルISQアナライザは、インプラント体の安定性を測定するための診断機器です。
インプラント体、またはアバットメントに装着する「スマートペグ」を使用して、非接触で
ISQ値(インプラント安定指数)が測定できます。測定されたデータは本体に保存されます。

治療のリスクを 早期に発見できます

簡単な操作でISQ値を確認できます。これをもと
にインプラント荷重時期の計画を立てることがで
きます。破折やクラウンの作り直しなどを予見し、
リスク・無駄を回避することが可能です。



迅速に治療方針の決定ができます

初期段階から測定が行えるため、早期から十分な
安定指数が計測された場合は、早期荷重をかける
目安になります。また、荷重時に埋込み時のISQ値
と比較することで、治療を進行させるかどうか決定
の指標となります。

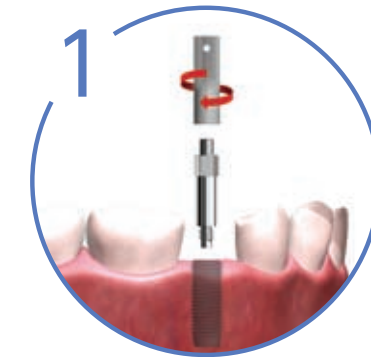


「非接触」で測定可能です

プローブから磁気パルスを「スマートペグ」に発信
し、共振周波数を測定することでISQ値を算出・表
示します。直接インプラント体やアバットメント
に器具を接触させないため、余分な衝撃を与えず
に測定可能です。



操作は簡単、2ステップ



スマートペグを インプラントに連結します

スマートペグマウント(付属品)を用いて、
スマートペグをインプラントにねじ込みます。
※スマートペグはメーカーやインプラントサイズにより
ネジ径が異なりますので、各社・各サイズに応じたものを
ご使用ください。(別売)



非接触で測定します

プローブから磁気パルスを発信。スマート
ペグとの共振周波数を測定し、安定性を
数字で表示します。

治療計画の目安、ISQ値

ISQ値(インプラント安定指数)は、RFA(共鳴振動周波数分析)法を用いたもので、インプラ
ント体の安定性を、1~100の数値で表します。ISQ数値が高いほど、安定性が高いことにな
ります。オステルISQアナライザは、磁気パルスによってインプラントに取り付けたスマート
ペグを刺激し、共鳴させます。共鳴が生じる磁気パルスの周波数とインプラントの安定性は
相関しているため、治療者はインプラント体に器具を接触させることなく、客観的な安定性
を数値で評価できます。

■ ISQ値とインプラント体安定性の相関の目安

	60	65	70	
	低い安定性			中程度の安定性
				高い安定性
補綴のプロトコル ※	リスクのある インプラント ISQをモニター	フルブリッジ	部分修復	単冠修復 シングルスタンドイング
埋入のプロトコル ※		2回法	1回法または2回法	1回法
修復のプロトコル ※		通常荷重	早期荷重	即時荷重

※別紙資料「オステルISQアナライザの代表的論文の要約」をご覧ください。